

# BLOX SKIPPER

## 取扱い説明書

### この製品について

この製品はドアを開けた際、スモールと連動する各点灯バルブを一定時間点滅させる商品です。つまり、ドアを開けてから任意の時間内、スモール球やテールランプ、室内灯などがゆっくり点滅を繰り返す様になるのです。製品の特性上、取付には数本の配線をスモールやドアのピックアップに接続して配線を完成させるようになります。

しかし、車種によっては標準の装置では対応できず別途用意のユニットを必要とする場合がございます。またある特定車種によっては装着不可の可能性もございます。

お車の電気特性を事前にご確認の上、装着作業に入ってください。

### 「BLOX」対応車種確認

- 基本的に国産車は下記で説明するマイナス制御車が殆どです。その車には問題無く装着が可能です。
- 日産車の一部やその他車種にプラス制御となっている車があります。この車にはOPTIONユニットを併設しなければ作動が行われません。
- ごく一部車両では装着不可の可能性がります。

- この製品は、スモールの出力がマイナス制御されている車を標準対応車としています。ここで言うマイナス制御とは、スモールの信号を担う電気出力がマイナスで発生するものです。

### ★確認手段、

ウインカーレバー等にあるスモールスイッチの配線にサーキットテスターをあてる事で行います。

スモールをONにした時、針が動かない（テスターが反応しない）車がマイナス制御車です。この場合はBLOX単体で問題なく装着可能です。

- もし、テスターが通常通り右に触れる（テスターが反応する）場合はプラス制御車です。この場合は3,000円（税抜き）のOPTIONユニットが必要となります。
- 最近のハイテク車にはスモール信号が電気出力でない場合があります。つまり、スモールのON/OFFを本当にパルスだけで検出している車です。この場合は、基本的に取付不可となります。車両によっては相当の工夫などを行う事で取り付けできる場合があります。

この製品は単純なイルミネーション効果を演出する物ですが、最近のハイテク車両を始め自動車は多くの電装品を備えています。最新技術との兼ね合いもあり、汎用品である本製品を装着することで、それら電装系あるいは機能に何らかの影響を受ける可能性も考えられます。条件によっては予測の付かないトラブル等に繋がる心配もありますので、装着車の技術情報や各部機能を把握の上装着をお願いします。万一そのような事態または支障から破損、事故などに繋がっても、当社ではその責任を負いかね、対応もできかねます。お客様個別での対応を御願ひ申し上げます。社外品として存在するこの製品について、現存する各車との相性や他社製品との組み合わせなど全てを網羅することはできないため、お客様の自己責任の中でご使用頂きますようお願い申し上げます。

 **警告**

- 本製品の装着作業は難度の高いものではありませんが、専門外のお客様様が作業すると怪我やトラブルの可能性があつて危険です。作業については技術を有する専門店やショップ、工場で行ってください。当製品の誤使用、取付け不良、その他の不具合によって被った損害に関しては当社は一切その責任を負いませんのであらかじめ御了承下さい。

 **注意**

- 本製品に熱や傷を加えたり、加工等は一切しないで下さい。
- 本製品の装着作業を行う時は作業意外にも十分注意して（適切な工具、的確な服装、安全な作業場と環境の確保など）作業を行って下さい。
- 作業後最初にエンジンを始動する際には、エンジンルーム、車の前後等十分確認し安全確保を行ってからにして下さい。

 **注意**

- 連結する自動車側の配線が部品等に隠れていたり見つけにくい事があります。各部の脱着には十分注意し、誤配線や紛失、破損、又は思わぬ怪我等をしないよう無理のない作業を行って下さい。

- お客様ご本人、または第三者の方がこの製品および附属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめ御了承下さい。
- 高温、多湿、塩分や毒性等の多い環境での保管や放置はさけてください。機能低下や腐食の原因になります。
- この製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 総ての作業が終了した時点で、取り付け確認、増し締めなどの最終確認を行って下さい。配線作業を行った接続部は充分確認して下さい。

★小売り店、作業工場の方がこの取扱い説明書を読まれた後は、必ずお客様に本書をお渡し下さい。

★製品に関してのお問い合わせ、連絡はお電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先 スキッパー
- 住所 〒194-0044 東京都町田市成瀬4873-5
- TEL 042-729-8958
- FAX 042-729-8978

## 配線方法

接続して頂く配線は4本だけです。車両をご確認の上接続して下さい。

- ①赤線 : 常時12V
- ②黒線 : アース (GND)
- ③緑線 : ドアピン入力 (室内灯廻り)
- ④白線 : スモール出力

各線は確実につなぎ、接触不良など起きないようにして下さい。

### ③ドアピンのピックアップについて

室内灯ユニットからルームランプ配線を辿ります。通常12V、アース、ドア信号の3本があるはずですが、テスターを使い、ボディアースとこのそれぞれの配線をつなぎます。ドアを開けた時テストが消灯、閉めたとき (タイムラグのある車種があります) に点灯 (反応) する線がドア信号線です。この場合、図1を参照にしドア切り替えS/Wを-側 (マイナス) に切り替えます。

もし、テスターの反応が上記と逆の動作なら、ドア切り替えS/Wを+側にします。

万一上記要領でドア信号が取れない場合は、各ドアのピックアップから取ります。

この場合一カ所から取れば問題ありませんが、各ドアの信号が独立している場合は、信号を取ったドアのみの連動となります。また、そのパターンで4カ所から信号を取る場合はそのまま接続ができませんので、その都度お問い合わせ下さい。

この接続は一例です。その他運転席のフットライトなども信号が取れます。

### ④スモールのピックアップについて

ライトスイッチの配線にテスターを当ててスモールON時に消灯、OFF時に点灯する線を探します。これがスモール線になります。もし、スモールON時にテスターが点灯、OFF時に消灯する場合、その車両は+制御となり、別売りのオプションリレーが必要になります。なお、ライトスイッチからのピックアップが不可能な場合スモールバルブから直接取る手段もありますが、この場合もリレーが必要です。リレー容量は+16Aまでです。ブロックス本体はマイナス3Aまでです。

図1、各操作部

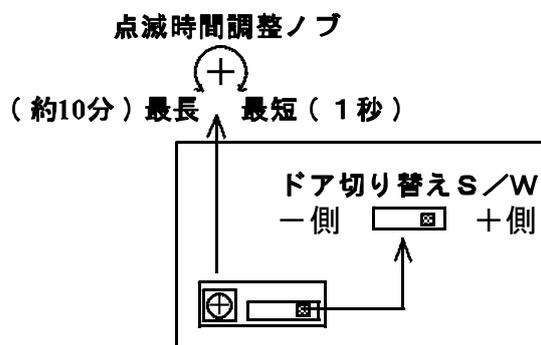
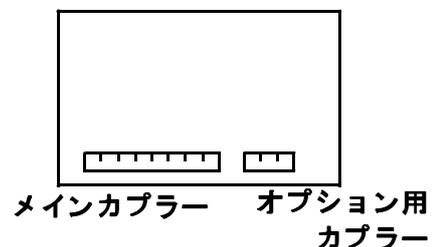


図2、ケーブル



本体はコクピット廻りのトリム内など目立たない箇所に収めて下さい。

防水型ではないので、湿気や熱の影響を受けないようにして下さい。

※減光機能のあるルームランプからスモールを取った場合、本体から異音が出ることがあります。異常ではありません。

※車種によってはライト警告ブザーが鳴ってしまいます。